

令和元（平成31）年度事業報告

〔自 平成31年4月1日 ～ 至 令和2年3月31日〕

〔ミッション〕

横須賀市の都市像「国際海の手文化都市」の実現を支援するために、市民の国際感覚を高め、市民レベルの多文化共生社会をめざす国際交流事業を推し進めます。

- 【1】 自国の文化を知るとともに、多様な文化への理解を深め、多文化共生の街づくりをめざす。
- 【2】 すべての人々の人権が尊重され、一人ひとりが大切にされる社会づくりに貢献する。
- 【3】 各人がもつ能力や経験を生かし、夢があって、ワクワクして、躍動感があり、明るく楽しいボランティア活動ができる場をつくる。

〔事業概要〕

- 【1】 会員を大切にされた協会運営を心がけ、ミッションの実現をめざし、一つひとつの事業を遂行した。
- 【2】 会員のボランティア参加登録を積極的に勧めると同時に、ボランティアが活動しやすい環境作りに努め、ボランティア活動の裾野を広げた。
- 【3】 会員相互の交流を深めると同時に、会員のみならず広く市民に対しても国際交流を行なう機会を提供するように努めた。
- 【4】 市民生活の安全を第一としてとらえ、特に外国籍市民の防災意識の啓発及び災害発生時の安全確保が行える体制を整備するよう市民と一体になって努力した。
- 【5】 認定及び市の指定資格取得により、寄付金獲得の活動を実施した。

I 運営業務

(1) 会議体

① 理事会

4月15日（月）臨時理事会（総会提案事項の最終審議）、8月26日（月）定例理事会（令和2年度予算について、協会事務所移転に関して 他）、11月11日（月）定例理事会（協会事務所移転の状況報告、令和2年度予算案審議 他）、1月20日（月）運営委員会・理事会の合同会議、3月3日（火）臨時理事会（コロナウィルス対応について）を実施。3月16日（月）に予定されていた合同会議は、コロナウィルス感染防止のため中止した。重要事項については業務報告をした。

② 運営委員会

協会の運営に関する事項を審議し重要事項については理事会への提案内容を纏めその承認を求めた。令和元年度は2回開催。

③ 事業執行委員会

理事、執行責任者、事業部門代表者などが参加、事業執行の円滑化を図ると共に事業の運営管理を行なった。令和元年度は3回開催。第4回目はコロナウィルス感染防止のため中止し

た。重要事案については業務報告をした。

④ 総会

5月18日（土）、第17回通常総会開催。

会場出席者36名、議決権行使による出席者155名の審議により、平成30年度事業報告及び決算報告、令和元年度事業計画及び活動予算に関して提案通り可決された。

(2) 認定資格取得と横須賀市の指定資格取得による義務業務

- ① 年度事業終了後、県NPO事務局及び横須賀市に、所定の書式に基づき、その事業年度の事業報告を作成し報告した。
- ② 定められた書類を作成し、閲覧希望者に対する公開措置を実施した。
- ③ 法人の情報公開性を高める為、定められた書式にてホームページ上に公開掲載した。
- ④ コンプライアンス（法令遵守）を徹底した。
- ⑤ 認定資格有効期間更新を申請し、令和元年8月7日～令和6年8月6日まで継続認可となった。認可期間は5年間なので、今後も継続申請を続ける。

(3) 情報提供

① 情報紙発行

ニュースポット：7月に68号、1月に69号発行 部数は68号1,600部、69号1,600部

② メールマガジンで月1回の情報提供

会員に対して事業活動の案内やボランティア活動への参加・協力をお願いなどを速やかに連絡し、メールによる情報提供をタイムリーに行った。

メールアドレスの無い希望者には、FAXや郵送で同じ情報を提供した。

③ ホームページによる情報提供

ホームページの内容充実とメンテナンスを随時行い、常に新しい情報の提供を行った。

II 自主事業

(1) 国際協力支援事業

① 窓口翻訳

外国人、市民などから窓口にて依頼を受けた、戸籍謄本、結婚証明書、出生証明書などの行政書類の翻訳を行い、令和元年度は合計149件の実績であった。

② 通訳・翻訳

横須賀市、企業などからの依頼による通訳・翻訳業務を行った。

通訳9件、翻訳13件

③ 国際貢献 フェアトレードコーヒー販売（決算数値）

国際貢献の一環として、フェアトレード取扱商品であるネパールコーヒーを販売した。

・事務所での袋売り：38,000円

・イベントでの販売：62,550円（JFY・懇親会・ボランティア交流会など）

合計額：100,550円

売り上げが半減したのは、よこすか産業まつりが中止になったことが大きな理由である。

④ 商工会議所パートナー事業

商工会議所との連携を基に、関連する情報を共有化し、積極的にパートナー事業に協力した。このパートナー事業も7年を経過し、商工会議所の信頼も高く、大きな成果を上げているので、さらに連携を強化して業容の範囲拡大をすすめる。

(2) 国際協力交流事業

① 世界の料理教室

世界各国の講師による家庭料理に親しみながら様々な国の生活・文化・習慣などを学び、国際理解の推進を図った。

第1回	6月20日(木)	: ボリビア (シンディー・ピジョン)	受益者 22名/従事者 4名
第2回	9月17日(火)	: フランス (モロー・ニコラ)	受益者 19名/従事者 6名
第3回	12月17日(火)	: タイ (臼井エミカ)	受益者 18名/従事者 5名
第4回	2月18日(火)	: カナダ (ローラ・サトリフ)	受益者 25名/従事者 5名

② ANA ウインドサーフィン ワールドカップ

5月10日(金)～15日(水)に開催された横須賀大会の現地及び近隣の宿泊施設に、通訳ボランティアを派遣した。また、現地に翻訳ボランティアも派遣した。

従事者 14名

(3) 国際協力啓発事業

① 外国語講座

外国人とのコミュニケーションの基礎手段である外国語、とりわけ市民のボランティア活動に必要な高い英会話をはじめ、韓国語、中国語など多文化共生社会を視野に入れた外国語講座を開催した。また、要望が多かったトラベル英会話クラスを新しく開講した。

1学期	: 講座数 17 クラス	受益者 192名/従事者 (講師) 10名
2学期	: 講座数 17 クラス	受益者 177名/従事者 (講師) 9名
3学期	: 講座数 17 クラス	受益者 165名/従事者 (講師) 9名

※コロナウィルス感染症対策のため、3学期の一部のクラスを中止した。中止したクラスの分は授業料を返金した。

出前英会話講座: 大津ハッピープリスクール 受益者 15～20 数名/従事者 (講師) 1名

(4) 自主活動

① ボランティア交流会

4月21日(日) 講演会

第1部: 今年で8回目「つるし雛」を届けて 眞汐優子、島田玲子

第2部: 日本赤十字国際奉仕団の講習

受益者 26名/従事者 7名

② ホームステイ・ホームビジット

1月31日(金)～2月2日(日) 韓国留学生ホームステイ受入

受益者7名/従事者23名(5家庭)

③ 国際理解講座

今年は依頼が無かった。例年依頼のあった高校が、再編により国際科を廃止したこと、市民大学からの要請がなかったことが要因。

④ 英語ガイドツアー

英語でのツアーを開催し、外国人との交流を図った。

第1回 6月22日(土) 金沢八景ツアー 受益者23名(内外国人18名)/従事者8名

第2回 11月30日(土) 横須賀文化歴史ガイドツアー(汐入～上町)

受益者19名(内外国人17名)/従事者8名

III 受託事業(横須賀市)

(1) 国際協力支援事業

① 外国人生活相談

横須賀に在住・在勤・在学する外国人が、生活の場で出会う悩み、問題などの相談に応じた。

相談員が言語別に曜日を決めて対応。相談件数143件

受益者70名(内外国人54名)/従事者9名

国別では、フィリピン18件、ペルー28件、日本32件、タイ20件、ネパール7件、中国4件、韓国3件、ブラジル7件、アメリカ4件、アルゼンチン6件、パラグアイ4件、インドネシア3件、モンゴル2件、バングラディシュ2件、ニカラグア1件、コロンビア1件、ミャンマー1件

・生活相談員勉強会：7月3日(水)「特定技能制度に伴う変化など」

受益者19名(内外国人3名)/従事者1名

② 日本語会話サロン

横須賀市に在住・在勤・在学する外国人を対象に、日常生活に必要な日本語会話能力を高めるため、会話サロンボランティアの協力のもとに、年間で282回の教室を開いた。

※コロナウイルス感染症対策として、2月末～3月末までの全てのクラスを中止した。

1学期(4～8月) 受益者206名/従事者85名

2学期(9～12月) 受益者192名/従事者89名

3学期(1～3月) 受益者130名/従事者95名

・指導者交流会：6月29日(土)

日本語ボランティアが、他のサロンメンバーと、活動に関する情報を交換し、また交流を深める目的で茶話会を開催した。

受益者18名/従事者1名

・日本語指導講座(はじめての日本語ボランティア)：8月31日・9月9日・21日(土)

受益者21名/従事者10名

・学習会：11月9日・16日・23日・30日・12月7日の毎土曜日 全5回

日本語指導講座を経て新規に会話サロンに加入したボランティアに、活動する際に役に立つ日本語文法を学ぶ機会を提供するとともに、既に会話サロンで活動中のボランティア初心者のレベルアップを図った。

受益者17名/従事者2名

③ 外国人防災啓発事業

災害時に「要援護者」となる外国籍市民を支援するため、横須賀市の関係部署との連携により市内在住の外国人に対して災害支援活動を実施した。

- ・ 11月9日（土）ヴェルクよこすかで外国人のための防災講座を実施した。
受益者 28名 / 従事者 5名
- ・ 災害時ボランティア研修
受益者 9名 / 従事者 4名
- ・ 令和2年2月2日（日）「ジャパン フェスティバル イン よこすか」で防災コーナーを設置した。
受益者 63名（内外国人 38名） / 従事者 7名

(2) 国際協力交流事業

① キッズフェスティバル

10月14日（月・祝）ヴェルクよこすかで、日本人と外国人の子供たちが集まりゲームや仮装コンテストなどを行なった。家族で参加する、協会唯一の子どもの行事である。

受益者 201名（内外国人 58名） / 従事者 38名

② 日本文化体験教室（JFY）年3回開催

流派・教室・家元等の制度を越えて日本文化を紹介するグループが、横須賀市及び近隣に在住・在勤・在学する市民および外国人を対象に体験教室を3回開催した。このうち1回は規模を大きくし、「ジャパン フェスティバル イン よこすか」を実施し、日本人と外国人の交流に重点を置いたイベントとして開催した。

・ 日本文化体験教室

生け花・折り紙・着物・書道・茶道・日本舞踊・琴・三味線/大正琴の8部門

第1回：6月8日（土） 受益者 243名（内外国人 167名） / 従事者 100名

第2回：9月28日（土） 受益者 221名（内外国人 108名） / 従事者 96名

第3回：令和2年2月2日（日） 第25回ジャパン フェスティバル イン よこすかと合同開催
受益者 893名（内外国人 563名） / 従事者 285名

・ 第25回ジャパン フェスティバル イン よこすか 第3回日本文化体験教室と合同開催

ステージ：和太鼓、インドネシアの踊り、武道（空手）、日本舞踊、武道（杖道）、篠笛、
第7艦隊バンド、サリヴァンズスクール クワイヤー、横須賀学院小学校の歌、
ジョイントコンサート

展示：横須賀の歴史、つるし雛、防災コーナー、姉妹都市交換学生事業、日本語会話サロン紹介コーナー

体験：日本文化体験教室8部門の他に囲碁、甲冑隊、武道（空手）、パッチワーク・キルト、
あそびコーナー（手作りおもちゃ、日本のあそび、けん玉、紙芝居）、和太鼓

- ・ その他に、湘南国際村、米海軍基地、姉妹都市交流などからの依頼に対して、体験希望者の受け入れや講師の派遣を行った。

(3) 国際協力啓発事業

① 国際ユースフォーラム

姉妹都市や市内の青少年が集い、それぞれの都市の紹介や意見発表などを通じて、交流と相互理解を深めるため、国際ユースフォーラムを実施した。

- ・8月6日（火）ヴェルクよこすか

第1部：姉妹都市と横須賀市の交換学生によるプレゼンテーション、スピーチ

第2部：交流会

受益者 19名（内外国人2名）/従事者 33名

（4）姉妹都市交換学生派遣・受入事業

① 交換学生の派遣

夏休みの期間中、約2週間、姉妹都市交流のあるコーパスクリスティ市（アメリカ）、ブレスト市（フランス）、フリマントル市（オーストラリア）の各都市に2名、メッドウェイ市（イギリス）に1名、計7名を交換学生として派遣した。

派遣学生は国際理解を深めるとともに、姉妹都市との交流を通じて、姉妹都市やその国々との相互理解、友好関係を深め、ひいては、国際平和に資することを目的とし派遣した。

横須賀市の親善大使として、ホームステイをしながら交流を深め、横須賀や日本の文化、魅力を各姉妹都市に発信するとともに、姉妹都市の文化、魅力を学び、横須賀市民に伝えることを今後の課題として活動を行なった。

- ・3月25日（月）募集説明会 受益者 55名/従事者 19名
- ・4月14日（日）第1次選考 受益者 48名/従事者 5名
- ・5月12日（日）第2次選考 受益者 23名/従事者 8名
- ・6月23日（日）合同説明会 受益者 21名/従事者 14名
- ・5月29日（水）～10月2日（水）派遣準備・事後研修 受益者 7名/従事者 5名

② 交換学生の受入

夏休みの期間中、約2週間、姉妹都市交流としてブレスト市（フランス）、フリマントル市（オーストラリア）、メッドウェイ市（イギリス）、各都市から2名、コーパスクリスティ市（アメリカ）から1名、計7名を交換学生として受け入れた。受入家庭は7家族。

メッドウェイの学生は、滞在期間を横須賀と伊東市で半分ずつ過ごした。

姉妹都市の高校生が横須賀市で生活することによって、日本文化、横須賀の文化に触れると共に各自国の文化を紹介してもらい、帰国後は横須賀市を広く紹介してもらおう。

又、ホームステイ受入の家庭には、姉妹都市の高校生との生活を通して多文化共生を体験し、市民レベルの国際交流の担い手となるようお願いした。

受益者（外国人）7名/従事者 30名

- ・姉妹都市交換学生プログラム写真展

3月11日（月）～3月31日（日） モアーズシティ

9月20日（金）～9月30日（月） モアーズシティ

IV その他の事業

今年度は、その他の事業（収益事業）に係る活動は実施していない。